

短歌

末武 有二 選

みはるかす風車立ち並む高原の端はたて真白き阿蘇の噴煙  
安永 守住 孝子  
いただきし香おりほのかな桜餅佛ほとけに供へ亡母を偲しのびぬ  
安永 山下たか子  
寒いねと言えばそうねと吾子あこも言う親子の絆深く思えり  
江津 高田芙佐子  
初春に健康願い集い来る太極拳のお稽古始め  
広崎 日野ヒロ子  
霜の朝草木や花を踏み倒し静かになった庭は寂しい  
宮園 島 みつき  
将来を背負おいてたてる子供達たち政争の具たにしな  
いさせない  
西山 正巳  
バス登校集まる場所を見守りて日々の北風避ける工夫す  
木山 本田 龍子  
散歩道みち鴉かの群れが田圃たんぼ内襲おわれそうそうで足早あくなる  
赤井 鈴木 駒  
夢に出る妻の面影若々し冥土への旅遅々と進まず  
赤井 増岡 伸禧  
※1月号の短歌において、広報係の入力間違いによる誤りがありました。おわびして訂正します。  
守住孝子さん作 【正】やはき陽を【誤】やわき日を  
島田廣子さん作 【正】日に照り映えて【誤】火に照り映えて

俳句

河野 全平 選

水仙すいせんの花芽数える翁おきなと孫  
冬暁とうぎょうや空の涯はて行く宇宙船  
マスクして小春日和やウオーキング  
初春や孫にもらったお年玉  
葉ボタンは霜に打たれて負けしらず  
春なれどもコロナ消滅願ねがふのみ  
寒明かんめいや流星探す猫抱ねこかかいて  
笑み誘まふ刈田かりに傾かぐ案山あか子かしかな  
冬空を阿蘇の噴煙独ひとり占しめ  
一句鑑賞  
賀春母かの齡としや注連しめ飾かざる  
水仙の花芽数える翁と孫  
古閑 今村 恒心  
惚領 阪口由美子  
惚領 阪口由美子  
惚領 野々口トミ子  
広崎 瀬戸サイ子  
宮園 野口志津子  
赤井 増岡 伸禧  
田原 辻ヶ峰子  
境 眞木子  
馬水 市村 克巳  
古閑 今村 恒心  
惚領 阪口由美子  
惚領 阪口由美子  
惚領 野々口トミ子  
広崎 瀬戸サイ子  
宮園 野口志津子  
赤井 増岡 伸禧  
田原 辻ヶ峰子  
境 眞木子

川柳

布田川左門 選

【お題】 自由詠  
震災復興飯田山から陽ひが昇ある  
登校路渡る児童ら旗に馴なれ  
成人の振袖ふりそで美人マスクして  
髪染めて老確おかめるクラス会  
ちよいの間の夢路に見たりジャンボくじ  
【お題】 伏流水  
五十四万石支え続ける伏流水  
A Iが君臨きん囲碁界将棋界  
森の都掘れば出る出る清水出る  
とこしえに命育む阿蘇五岳  
今村 恒心  
本田 龍子  
工藤あつこ  
佐藤 澄世  
増岡 伸禧  
ジオパーク  
七番勝負  
水道不用  
活火 山

次回のお題 「月旅行」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

益城の文化財  
町文化財保護委員会



赤井

赤井火山が支える命の水  
シリーズ①

町の東に望む阿蘇火山は、これまでに4回(27万年前、14万年前、12万年前、9万年前)の大噴火を起こしています。これらの大噴火は、本町(熊本平野)の地形・地質、植生などに大きな影響を及ぼしました。

赤井火山の噴火は、阿蘇火山の2回目の大噴火直前の14万年前頃とされています。その頃、阿蘇カルデラの外ではあちらこちらで火山が噴火。赤井火山だけでなく西原村秋田溶岩も、その頃に噴出されたことが分かっています。

赤井火山から熊本平野へ向けて流れ出た溶岩。これが「砥川溶岩」です。砥川溶岩は中砥川の岩戸川沿い、嘉島町北甘木の台地に限り露出し、大部分は熊本平野地下に分布しています。

露出している岩戸川沿いでは地